

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 26日

【評価実施概要】

事業所番号	0174700781		
法人名	株式会社 アルムシステム		
事業所名	グループホーム新得ふれあい館		
所在地	上川郡新得町西3条南6丁目1-3 (電話) 01566-9-5177		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年11月27日	評価確定日	平成19年12月26日

【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	14年9月1日
ユニット数	1ユニット	利用定員数計 9人
職員数	9人	常勤 6人, 非常勤 3人, 常勤換算 6.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000円	その他の経費(月額)	14000~19,300円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		700円

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	2	要介護2	5		
要介護3	1	要介護4	1		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 80.5歳	最低	71歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	サホロクリニック・新得歯科診療所
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は閑静な住宅街に立地し、敷地内にはテラスが設けられ居間からは景色が眺められるなど、全体的に落ち着いた雰囲気を持っている。職員は利用者の自立と尊厳を大切にし、日々のケアサービスを実践している。また、利用者一人ひとりの希望や意向を尊重した外出支援が積極的に行われており、活動性が保たれるよう配慮されている。かかりつけ医とも連携が密に取れており、医療面においても利用者本人・家族の安心に繋がっている。今後も、利用者がその人らしく暮らしていくことが期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価における課題であった事業所便りの発行について、定期的に便りを発行し改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員間で話し合いながら自己評価を行い、改善に向けて取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議では事業所の運営状況等を報告したり情報交換の場としても活用している。また、構成員と利用者が一緒に食事を摂ってもらうなど、事業所の雰囲気や利用者の生活ぶりをより深く理解してもらう工夫をしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の来訪時や写真入りの便りにて、利用者の生活ぶりや健康状態等の報告を行っている。また、電話連絡等の際に家族から意見・要望等を受けた際は職員間で協議し、改善に向けて取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町や社会福祉協議会主催の活動に参加して交流し、関係者と意見交換を行っている。また、散歩や買い物など日常的に外出した際に近隣住民と接する機会が多く、地域との連携を図っている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基に事業所独自の運営方針をつくりあげ、目に付きやすい場所に掲示している。	○	事業所紹介のパンフレットが未整備であり、早急に作成することが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング等で理念の共有を図っているが、全職員に浸透するまでには至っていない。	○	今後、会議等で話し合い全職員で理念を共有して実践に取り組むことが期待される。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町主催のイベントに参加したり事業所の行事に近隣住民を招待するなど、地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員間で話し合いながら自己評価に取り組んでいる。しかし、全職員で取り組むまでには至っていない。	○	今後、全職員が自己評価・外部評価の課題について話し合う場を設けることが期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、事業所の運営状況等の報告や情報交換等を行っている。また、会議の構成員と利用者が一緒に食事を摂る機会を設けるなど、事業所への理解をより深める工夫をしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町主催のイベント等に参加した際に担当者と連絡を取る機会があり、意見交換を行いながらともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時や事業所便りにて、利用者の暮らしぶりや健康状態等について報告している。また、金銭管理については明細書のコピーを家族に送付している。来訪が困難な利用者家族には職員が自宅を訪問し、利用者の状況等を伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時や電話連絡の際に意見・要望等を聞き取るよう努め、意見等を受けた場合は毎日のミーティング時に協議し、日々のケアサービスに反映させている。また、その過程や改善結果等を家族に伝えている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は少ない状況であるが、離職等があった場合は十分な引継ぎ期間を設け、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は外部研修に参加する機会を設けており、職員は積極的に受講している。また、外部から講師を招いての内部研修を実施しており、知識習得や技術向上を図っている。</p>	○	<p>今後、外部研修受講後は報告書を作成し、他の職員への研修内容の周知を期待したい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>十勝グループホーム協議会に加入し、研修会等を通じて他事業所職員との交流を図っている。また、同地区の事業所と情報交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>職員は利用者本人・家族に事前に事業所見学を勧めている。また、管理者や計画作成担当者が状況に応じて面談して情報収集を行い、利用者が徐々に事業所の雰囲気に馴染めるような環境づくりに努めている。入居後は夜間の巡回回数を増やすなど、利用者が安心して過ごせるよう支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者それぞれの力量に応じて食事の準備・洗濯・裁縫などを職員が見守りながら一緒に行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者の思いや希望の把握に努めている。また、表出が困難な場合は職員が時間をかけてコミュニケーションを取り、その人らしい生活となるよう支援している。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月に1度開催しているカンファレンスにおいて利用者の状態を検討している。また、家族からの情報や意見・要望を採り入れながら職員間で話し合い、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度の見直しを行うとともに、利用者の状況に変化があった場合はそのつど話し合い、新たな介護計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者・家族の状況に応じて通院の送迎や外出時の付き添いなどの支援を行っている。また、地域住民から介護に関する相談を受けるなど、柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医への受診支援を行っている。また、医師や看護師と連携が取れており、緊急時に往診してもらえるような体制を整えている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者が重度化した場合には、家族と今後の方針について話し合う機会を設けている。しかし、事前に重度化・終末期に向けての対応の説明や意向を確認するまでには至っていない。</p>	○	<p>今後、家族と重度化・終末期についての事業所としての対応や家族の意向確認について話し合うことが期待される。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者の誇りを損ねることのないような声かけや対応を心がけており、排泄についても十分な配慮をしている。</p>	○	<p>現在、利用者の介護計画等については個人所有のパソコンで作成しているため、今後、事業所内で計画作成等作業専用を使用できるパソコンを用意し、個人情報の取り扱いにも配慮することが期待される。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>イベントへの参加や買い物への外出など、一人ひとりに応じた支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量に応じて調理・盛り付け・配膳などを職員と一緒にやっている。また、職員がさりげなく声かけをし、和やかな雰囲気の中で一緒に食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせた入浴支援を行っており、毎日の入浴も可能である。浴室は家庭的な浴槽配置で、利用者が動作しやすいよう配慮している。また、夜間入浴の希望があった場合は柔軟に対応できるよう努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事・畑仕事・花壇の手入れ・買い物など、一人ひとりの力や希望に応じた役割や楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物・日帰り温泉・観光・外食など、一人ひとりの希望に応じた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠しており、日中は鍵をかけず自由に出入りできるように取り組んでいる。また、利用者が外出しそうな場合は職員の見守りや付き添いにより、安全面に配慮しながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	救急救命講習や消火訓練・防火避難研修等を年に2回実施している。また、地域から緊急時に協力が得られるような働きかけを検討中である。	○	今後、防火避難訓練の早急な実施が期待される。また、繰り返し感染症への予防対応等にも取り組むことが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別に食事摂取量を毎日記録し、必要に応じて水分量も記録している。また、利用者の嗜好や栄養面に配慮した献立を組み、調理方法も工夫している。	○	今後はより一層栄養バランスのとれた食事内容とするため、栄養士による定期的な献立の確認が期待される。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁の絵を貼りかえたり外出した際の写真を飾るなど、利用者が季節感を感じられるような工夫をしている。また、共用空間の要所に表示をし、利用者が生活しやすいような配慮をしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた家具や仏壇・物品等を持ち込んでいる。また、利用者と職員が協力しながら部屋の模様替えをすることもあり、本人が安心して過ごせるような工夫をしている。		

 は、重点項目。